

令和7年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立保谷小学校

全国学力学習状況調査(小学校第6学年)

| | 課題が見られた問題の概要 | 正答率 | 調査結果を踏まえた成果 | 調査結果を踏まえた課題 |
|----|--|--------|--|--|
| 国語 | 【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する。 | 33.30% | 「話すこと・聞くこと」に関する領域において、話し手の考え方と比較しながら自分の考え方をまとめることができる。また、話し手が伝えたいことと自分が聞く必要のあることの両面を意識しながら聞き取り、話の内容を捉えることができる。 | 「読むこと」に関する領域において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を読み取ることに課題が見られた。また、記述式の問いには無回答が23.2%と多く、日頃から文中の重要な語句や文章を考えて選び出すことにも課題が見られた。 |
| | 【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】【資料3】【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く。 | 42.00% | | |
| | 【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する。 | 49.30% | | |
| | 【ちらし】の下線部イ(あつい日)を漢字を使って書き直す。 | 50.70% | | |
| 算数 | 五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く。 | 21.70% | 棒グラフから項目間の関係を読み取ったり、伴って変わる二つの数量関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる。また、角の大きさや異分母の分数の加法の計算のしかたを理解している。 | 基本図形に分割することができる図形の面積を求めることがや数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができない児童が多い。台形の定義を十分に理解していないため、向きが変わると台形として認識できない。10%増量の意味を正しく捉えることができない。 |
| | 数直線上に示された数を分数で書く。 | 27.50% | | |
| | 10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ。 | 39.10% | | |
| | 方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ。 | 49.30% | | |
| 理科 | 2(1)アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ。 | 13.00% | 正答率が都平均より上回った問題は3(2)花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための操作を選ぶ問題、水の蒸発に関する問題、水の行方に関する問題である。このことから実験・観察に意欲的に取り組み、実験器具を正しく操作する技能が身に付いてきている。また、水に関する社会科、総合的な学習(環境問題)でも関連して学習するがあるので繰り返し学ぶことで知識の定着が見られる。 | 全体的に「エネルギー」を柱とする領域の正答率が低い。中でも一番低い問題は2(1)である。身の回りの金属の性質について、電気を通す物と磁石に引き付けられる物が混同していて、正しい知識が定着していないことが課題である。都の平均と比べて最も正答率が低い問題は2(4)である。電流が多く流れるのは直列つなぎだと理解はしても実際のつなぎ方を図で表したものを見出せない。また、見えない電流の流れが想像できなかったと考えられる。2(2)も電流の流れが想像できず、電気の回路のつくり方について正しい実験の方法を選択できなかったと考えられる。3(4)については差異点や共通点を基に新たな問題を見出し表現する力に課題があると考えられる。記述式の問題は苦手な傾向にある。 |
| | 3(4)レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気付きを基に、見出した問題について書く。 | 21.70% | | |
| | 2(4)乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ。 | 36.20% | | |
| | 2(2)電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形Aの剣を人形Bに当たたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶ。 | 43.50% | | |